

人材育成推進事業



津奈木町人材育成 推進事業募集

☎政策企画課 ☎78-3114 (内222)

町内の各種人材を育成するための研修や地域づくりのための費用を補助します。

▶対象

町内在住で人材育成のための指導者

▶補助内容

人材育成のための研修や地域づくりの費用
(交通費、宿泊費、謝礼金など)

▶補助金額

人材育成に要する経費の3分の2以内
(上限 50 万円)

▶募集期間

通年

▶申込

政策企画課備え付けの申請書に必要事項を
記入し、必要なものを添えて提出

元気づくり補助事業



津奈木町元気づくり 補助事業募集

☎政策企画課 ☎78-3114 (内222)

町内の各種団体などが団体の活性化と地域の活性化を図るために自主的に取り組む活動に対して支援します。

▶対象団体

町内の団体

▶補助対象

・地域振興や観光 PR などのためのイベント
・地域の活力維持や活性化が見込まれる事業

▶補助内容

予算の範囲内 (50 万円程度)

▶募集期間

通年

▶申込

政策企画課備え付けの申請書に必要事項を
記入し、必要なものを添えて提出

ミツバチの飼育届



ミツバチ飼育時には 飼育届を提出

☎農林水産課 ☎78-3112 (内243)

▶対象期間 R6.1/1~12/31

▶申込 蜜蜂飼育届を7/18 (火)までに提出

次の場合は、提出不要です

- ①農作物などの花粉受精用のみの飼育
- ②密閉構造の飼育管理設備での飼育
- ③主に野生のミツバチの飼育法として行われている自然巣洞、重箱式巣洞などでの飼育

原油価格・物価高騰支援



農業・漁業者支援 機械などの購入費補助

☎農林水産課 ☎78-3112 (内241)

原油価格・物価高騰の影響を受けた農業・漁業者に、作業の省力化や効率化につながる機械やシステムなどの費用を補助します。

▶対象 町内に住所を有する次の人

農業：認定農業者か農業収入がある人など

漁業：津奈木漁協の正組合員か準組合員

▶補助対象 機械やシステムなどの整備費用。

1台 10 万円以上の機械などが対象。

※今回から基準を満たした中古品も対象。

▶補助率 2分の1以内

▶補助上限額

専業者：50 万円

兼業者：20 万円

※申請は1世帯1回まで。

▶申込 7/31 (月)までに農林水産課備え付けの
申請書に必要なものを添えて提出

粗大ごみの休日特別受け入れ



粗大ごみの 休日特別受け入れ

☎住民課住民班 ☎78-3113 (内111)

粗大ごみの休日特別受け入れを行います。
処理場へ持ち込む粗大ごみは「可燃粗大ごみ」と「不燃粗大ごみ」に分別をお願いします。

▶日時 8月6日(日) 9:00~12:00

▶場所 津奈木町ごみ処理場

▶その他 粗大ごみは平日(水曜日、祝日、年末年始を除く)も受け入れています。

▶料金表 おつりのいらないようにお願いします。

区分	基本額	加算額
可燃粗大ごみ	300 円	30 ^{kg} を超えると 10 ^{kg} ごとに 100 円加算
不燃粗大ごみ	500 円	50 ^{kg} を超えると 10 ^{kg} ごとに 100 円加算
指定粗大ごみ(自転車など)	700 円 (1 台)	

津奈木町職員人事異動



7/1 付け発令 町職員人事異動

☎総務課総務班 ☎78-3111 (内211)

異動職員

▶住民課主事

坂本 聡史 (旧：建設課主事)

地域おこし協力隊通信

津奈木町で 1年間を過ごして

津奈木町にきてちょうど一年が経ちました。町を今までにない形で届けていきたいと思い、フード&アートをテーマに冊子を刊行。この町のことが気になると思ってもらえるよう、読者が余韻に浸れるような考える、感じられる余地のある誌面にしました。コンセプトに賛同し関わってくださったメンバーも大変豪華です。巻頭エッセイは作家の田口ランデーさん、津奈木産の食材を使ったレシピは人気料理家の冷水希三子さん、写真は海外の雑誌でも活躍中の伊藤健太郎さん、デザインはデザイナー・城谷耕生さんに師事していた古庄悠泰さん、編集は長崎のオーガニック直売所タネットの店主・奥津爾さんです。今回は、わたくし農園の山崎幸治さんと、あんなのづくりの長友さん一家に取材し、ものづくりにかけた思いを中心に載せています。



『の下記の一節が脳裏に蘇ってきました。以下は「自分の中に毒を持って」から引用になります。『つまり手づくり、手で作るというのは、実は手先ではなく、心で作るのだ。生活の中で、自分で情熱をそこにこぎ込んで、ものを作る。楽しみ、開放感、そして何か冒険、つまり、うまくいかないのではない、等々いささかの不安をのり越えながら作る。そこに生きている夢、生活感のドラマがこめられている。心が参加し、なまなましく働いていることが手づくりの本質だと言いたい』こんな思いが少しでも読者に伝わり、心に届けば大変うれしいと思っています。

地域商社推進 蟻正直揮さん

